公明ひらつか

確かな未来で笑顔あふれるまちに

上野 仁志 議員

予算編成方針

問 令和7年度の行財政運営の取り組みと成果、課題を伺う。

市長 民間活力の活用や未利用地などの有効活用、公共施設の最適化や基金の運用のほか、回収困難な一部の債権について新たな適正管理の取り組みを導入した。また、税源涵養につながる取り組みが実を結び、16年ぶりに普通交付税の不交付団体となった。今後も持続可能なまちづくりを進めるためには、将来にわたる安定的な財源の維持や確保が課題である。

問 民間のインパクト投資ファンドなど、新たな取り組みに対する見解を伺う。

企画政策部長 他の自治体の事例を参考に研究していきたいと考えている。

問 市民を物価高騰からどう守るのか伺う。

市長 これまでも国と連携し、「中小企業等賃上げ応援奨励金」や小・中学校などの給食食材費支援、スターライトマネーによる市内経済の消費喚起など、地域の実情に応じた対策を迅速かつ切れ目なく講じてきた。今回の重点支援地方交付金の活用においても、更なる支援の検討を進め、市民生活を守り支え、経済活動への影響を最小限に抑える対策を講じていく。

フレイル予防

問 本市のオーラルフレイル対策の特徴と成果を伺う。

健康・こども部長 産官学民連携で取り組み、東京大学からは住民主体の教室運営に対する助言を受け、産業界からはリーフレットなどの作成支援を得ている。令和4年度から6年度にかけて、モデル地区で集中的に普及啓発を実施した結果、フレイルの発症や悪化を抑え、介護給付費が抑制される効果が見られた。また、本市の取り組みの独自性が評価され、県内で唯一、保険者機能強化推進交付金の成果指向型配分枠の採択につながった。

問 今後は、介護費の削減額などを目標にする必要があると思うが、いかがか。

健康・こども部長 成果目標を立てることは大変大事なことだと思っている。今後は費用なども踏まえ、成果目標が立てられるような手法についても研究していきたい。

海辺の魅力アップ

問 ひらつかシーテラスの渋滞対策を伺う。

都市整備部長 開園から1か月間は、多くの来園者が見込まれることから、土日と祝日に臨時駐車場やシャトルバスを用意した。また、交通誘導員を重点的に配置することで、国道134号に多少の混雑は見られたが、渋滞の発生はなかった。

問 浜辺のさんぽ道に、健康のために市民が毎日歩きたくなるよう「ひらつかシーテラスまで何キロ」のような距離数を表示した案内が必要と考えるが、見解を伺う。

都市整備部長 園路内の各所には案内サインを設置しており、施設までの距離も明示している。今後、利用者の声を踏まえ、さらに検討したいと考えている。

問 ひらつかシーテラスで写真を撮る際に、本市だと分かるようなモニュメントを設置して、来園者に発信してもらいたいと思うが、見解を伺う。

都市整備部長 ひらつかシーテラスには眺望などいくつかの「映えスポット」があると思う。現在新たなものは考えていないが、今後検討していきたい。

▼そのほかの質問 平塚市地域防災計画（改訂素案）について　入札不調について

「誰一人置き去りにしない」あったかひらつかに

岡崎 通子 議員

不登校児童生徒の居場所の拡充

問 本市の小中学校における30日以上の長期欠席児童生徒数は1141名で、そのうち不登校数は659名である。この現状をどのように考えているか伺う。

教育長 不登校はどの児童にも起こり得ることとして捉えており、多様な要因や背景により、結果として不登校状態になっていると考えている。学校は、不登校の児童生徒に寄り添い、不登校の未然防止から早期発見や早期対応、不登校となった児童生徒への継続的な支援が個々の状況に応じてなされるよう、チームとして組織的に取り組んでいる。

問 本市の不登校児童生徒数は、小中学校1校分の全校生徒数をはるかに超える状況となっている。子どもたちが安心して成長できるよう、学校以外に穏やかに過ごせる居場所を作る必要があると考えるが、見解を伺う。

学校教育部長 子どもたちにとっての居場所は大切だと考えている。福祉的な取り組みも活用しながら、居場所づくりに努めていきたい。

問 我が会派で先進的な取り組みをしている川崎市の「フリースペースたまりば」を視察した。自己肯定感を育む居場所づくりを掲げ、誰もが安心して過ごせる居場所を開設して生徒を受け入れ、約9割の子どもたちが自ら高校進学を希望し、進学している。フリースクールの先進事例として視察してはどうかと思うが、見解を伺う。

学校教育部長 視察の候補として検討したいと思う。

高齢者が安心できる見守り・つながり

問 孤独・孤立対策推進法が施行された。一人暮らしの高齢者の孤立状態を作らないためには、地域での見守りや、つながりが重要不可欠である。地域での福祉的な見守りや、つながり作りに向けた本市の考えを伺う。

福祉部長 相談や見守り体制の確保、地域でのつながりを大事にすることが今後ますます重要になる。本市では民生委員児童委員や、町内福祉村、各地区の社会福祉協議会などが相談や見守り役に取り組んでいる。地域での取り組みを支援し、支え合いの地域づくりを進めていく。

▼このほかの質問 認知症対策について

個別最適な英語教育を

秋澤 雅久 議員

問 「第3期平塚市教育振興基本計画～奏プラン3～」にて、英語教育をどのように位置付け、何を目指すのか。また、子どもたちをどのようにグローバルな人材として育成するのかを伺う。

学校教育部長 本市の英語教育は奏プラン3の基本方針1「確かな学力と豊かな心を育む教育環境の充実」に位置付けている。奏プラン2での取り組みを引き続き実施し、外国の生活文化に触れ、外国語に対する興味や関心を高める。また、教員の授業力を高め、児童の英語によるコミュニケーション能力の素地、基礎を養い、英語によるコミュニケーション能力を育成し、将来、社会で活躍できる人材の育成を目指していく。

問 オンラインによるネイティブスピーカーとのマンツーマン英会話授業の評価と、活用への考えを伺う。

学校教育部長 オンラインによるマンツーマン英会話は、一人一人の発話量を確保でき、習熟度に応じた授業も可能であり、英語で即答する力や自信の向上につながると評価している。今年度、全中学生が年間1回オンライン英会話を実施できる機会を設定しており、受講した生徒からは「英語力を試すいい機会になった」、「即時に考え、会話することでスピーキング力が上がった」などの感想があった。今後、英語教育においては、オンライン上の会話を含め、対話によるコミュニケーションの経験が重要であると考える。AET派遣を中心とした対面でのコミュニケーションを重視した取り組みを継続し、オンライン英会話については補完的な学習機会として活用していきたいと考えている。

▼このほかの質問 介護分野における有償ボランティアの活用について

「マチイロ」

アプリ「マチイロ」にひらつか議会だよりを掲載しています。

会議録検索のご利用を

市議会ホームページの会議録検索では、日程や発言者などから簡単に検索することができます。

市議会ホームページ

市議会に関する情報は、市議会ホームページからご覧になれます。

公明ひらつか所属議員

五十嵐 豊 議員

石田 美雪 議員